

西部環境センター維持管理記録書(平成30年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,883
		2号炉	2,893
		3号炉	2,350

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	995	800 以上
		2号炉	4月30日	964	
		3号炉	4月30日	971	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	186	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	185	
		3号炉	4月30日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	23	100 以下
		2号炉	4月30日	15	
		3号炉	4月30日	15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	4月17日	5月17日	0.019 m ³ N/h	37.05 m ³ N/h
						0.8 ppm	
ばいじん	1回/2月					0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.9 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					3.0 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					52 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	3.2 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	4月24日	5月23日	0.016 m ³ N/h	37.54 m ³ N/h
						0.5 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.0 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					2.4 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					47 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	5.4 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	4月27日	5月25日	0.0084 m ³ N/h	36.17 m ³ N/h
						0.2 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.7 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					1.6 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					70 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	9.0 µg/m ³	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,528
		2号炉	2,147
		3号炉	2,649

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	990	800 以上
		2号炉	5月31日	994	
		3号炉	5月31日	980	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	187	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	185	
		3号炉	5月31日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	21	100 以下
		2号炉	5月31日	16	
		3号炉	5月31日	13	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	5月8日	6月8日	0.028 m ³ N/h	37.13 m ³ N/h
	1.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.2 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		59 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	2,940
3号炉		2,921	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	5月31日	929	
		3号炉	5月31日	952	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	185	
		3号炉	5月31日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	5月31日	19	
		3号炉	5月31日	14	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	/
ばいじん	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h
塩化水素	1回/2月				ppm	0.04 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				mg/m ³ N	180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	6月5日	/	/
ばいじん	1回/2月				ppm	50 ppm
塩化水素	1回/2月				0.075 m ³ N/h	37.99 m ³ N/h
窒素酸化物	1回/2月				2.9 ppm	0.04 g/m ³ N
全水銀	1回/4月				<0.001 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	6月8日	/	/
ばいじん	1回/2月				3.7 mg/m ³ N	180 ppm
塩化水素	1回/2月				2.2 ppm	50 ppm
窒素酸化物	1回/2月				0.053 m ³ N/h	37.14 m ³ N/h
全水銀	1回/4月				2.6 ppm	0.04 g/m ³ N
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	6月22日	/	/
ばいじん	1回/2月				4.3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.6 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				55 ppm	50 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	3,012
		3号炉	2,991

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	7月31日	950	
		3号炉	7月31日	965	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	187	
		3号炉	7月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	7月31日	16	
		3号炉	7月31日	11	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	—	—	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	7月6日	7月25日	0.0037 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	7月13日	8月2日	0.00069 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	—	m ³ N/h	m ³ N/h
					ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
					ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	—	m ³ N/h	m ³ N/h
					ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
					ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	—	m ³ N/h	m ³ N/h
					ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
					ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,930
		2号炉	2,985
		3号炉	2,282

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	942	800 以上
		2号炉	8月31日	930	
		3号炉	8月31日	970	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	181	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	189	
		3号炉	8月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	36	100 以下
		2号炉	8月31日	15	
		3号炉	8月31日	11	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月28日	9月13日	0.013 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月7日	9月5日	0.057 m ³ N/h	36.99 m ³ N/h
	2.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1.6 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	45 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	8.6 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月3日	8月31日	0.0091 m ³ N/h	37.87 m ³ N/h
	0.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					1.2 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	0.7 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	45 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	24 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	8月10日	9月7日	0.0064 m ³ N/h	37.54 m ³ N/h
	0.2 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1.6 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	40 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	9.4 µg/m ³	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,864
		2号炉	1,258
3号炉		2,199	

データ 項目	測定位置	結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日 948	800 以上
		2号炉	9月30日 922	
		3号炉	9月30日 989	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日 182	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日 187	
		3号炉	9月30日 186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日 25	100 以下
		2号炉	9月30日 15	
		3号炉	9月30日 16	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³		50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月4日	0.013 m ³ N/h	37.77 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				0.4 ppm		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.4 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				1.4 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				65 ppm		50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³		50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,008
		2号炉	—
		3号炉	3,019

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	963	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	934	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	183	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	24	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	21	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月2日	10月29日	0.020 m ³ N/h	37.01 m ³ N/h
	0.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.8 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		69 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	10月5日	11月5日	0.042 m ³ N/h	37.09 m ³ N/h
	1.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.2 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		74 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,910
		2号炉	681
3号炉		2,930	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	945	800 以上
		2号炉	11月30日	936	
		3号炉	11月30日	933	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	184	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	174	
		3号炉	11月30日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	23	100 以下
		2号炉	11月30日	27	
		3号炉	11月30日	19	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	11月9日	11月30日	0.025 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	11月13日	12月4日	0.017 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成30年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,998
		2号炉	2,620
3号炉		2,994	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	968	800 以上
		2号炉	11月30日	968	
		3号炉	11月30日	958	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	183	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	177	
		3号炉	11月30日	188	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	17	100 以下
		2号炉	11月30日	26	
		3号炉	11月30日	18	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月4日	12月27日	0.022 m ³ N/h	36.43 m ³ N/h
						0.9 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月4日	12月27日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.4 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月4日	12月27日	1.4 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					34 ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	12月11日	1月10日	0.022 m ³ N/h	37.21 m ³ N/h
						0.8 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	12月11日	1月10日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.2 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	12月11日	1月10日	1.3 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					39 ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	12月18日	1月21日	0.031 m ³ N/h	37.11 m ³ N/h
						1.3 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	12月18日	1月21日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5.0 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	12月18日	1月21日	3.0 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					49 ppm	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成31年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,517
		2号炉	2,023
		3号炉	773

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	985	800 以上
		2号炉	1月31日	1,003	
		3号炉	1月31日	955	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	180	
		3号炉	1月31日	191	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	20	100 以下
		2号炉	1月31日	31	
		3号炉	1月31日	21	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	1月18日	1月31日	0.019 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	1月18日	0.042 m ³ N/h	37.91 m ³ N/h	
	1.6 ppm						
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.3 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				1.4 ppm		
全水銀	1回/4月	57 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	50 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	1月18日	0.042 m ³ N/h	37.91 m ³ N/h	
	1.6 ppm						
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.3 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				1.4 ppm		
全水銀	1回/4月	57 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	50 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	1月8日	0.042 m ³ N/h	37.91 m ³ N/h	
	1.6 ppm						
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.3 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				1.4 ppm		
全水銀	1回/4月	57 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	50 µg/m ³	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成31年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,247
		2号炉	2,140
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	1,010	800 以上
		2号炉	2月28日	1,038	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	187	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	181	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	21	100 以下
		2号炉	2月28日	26	
		3号炉	休炉	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	休炉
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	休炉

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	2月19日	3月7日	0.067 m ³ N/h	37.96 m ³ N/h
	2.6 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.0 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.5 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	82 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	2月15日	3月6日	0.012 m ³ N/h	37.11 m ³ N/h
	0.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					1.3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	0.8 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	69 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(平成31年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,045
		2号炉	2,452
		3号炉	1,742

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	1,010	800 以上
		2号炉	3月31日	963	
		3号炉	3月31日	979	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	187	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	185	
		3号炉	3月31日	179	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	16	100 以下
		2号炉	3月31日	20	
		3号炉	3月31日	35	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm				ppm	ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm	ppm	ppm				
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N				
	ppm	180 ppm					
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。